

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年5月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年5月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|------|-------|
| 1 | <p>【新事務本館設備監視用の無停電電源装置の故障について】 当社社員が、新事務本館の電源切替作業後に各設備の電源を復旧していたところ、新事務本館設備監視用の無停電電源装置の故障を確認。 無停電電源装置の負荷は別の電源へ切替済み。 今後、無停電電源装置を修理予定。</p> | GⅢ | 5月24日 |
| 2 | <p>【構内絶縁油タンクエリアにおけるNo.1絶縁油タンクブリーザ部からの絶縁油の漏えいについて】 当社社員が、構内絶縁油タンクエリアのNo.1絶縁油タンクブリーザ※部から、低濃度PCB(0.5ppm超のポリ塩化ビフェニル)含有の絶縁油が漏えいしていることを確認。 漏えいした絶縁油は堰内に留まっており、側溝への流出はなく、周辺に火気、可燃物なし。 なお、消防により「油の漏えい事象」と判断。 また、漏えいした絶縁油は回収し、漏えい箇所であるブリーザ部から絶縁油の抜き取りを実施し、漏えいは停止。 今後、原因の調査および、当該タンクの絶縁油を別のタンクへ移送し、ブリーザの点検、清掃を実施予定。</p> <p>※ブリーザ: 油タンクの内圧を保ちつつ外部の塵を除去する機器</p> | GⅢ | 5月22日 |
| 3 | <p>【サブドレンサンプルタンク(J)水位計の指示不良について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室において、サブドレンサンプルタンク(J)の水位計の指示が変動していることを確認。 現場確認の結果、当該タンク廻りにおける漏えいはなく、水位計の指示不良と判断。 当該タンクは予備タンクのため、サブドレン系統の運用に影響なし。 今後、水位計を交換する。なお交換まではパトロールにて1日/回、タンクからの漏えいがないか確認する。</p> | GⅢ | 5月24日 |
| 4 | <p>【5, 6号機設備点検における冷媒の漏えいについて】 当社社員が5, 6号機の冷媒含有機器の点検において、次の機器について冷媒漏えいを確認。 ①5号機常用系空冷冷却設備(5-13B)について、冷媒圧力の指示値が低下していたことから、冷媒漏えいと判断。 なお、冷却設備は予備機が運転可能であり、系統への影響なし。今後、冷媒を回収し、原因調査、修理を実施。 ②6号機原子炉建屋換気空調系空冷冷却設備(6-8A, 6-8G)について、配管継手から微少な冷媒漏えいを確認。継手部の増締めをしたが漏えいは停止しなかった。 なお、当該設備は使用予定が無く、冷媒回収を計画していたが、前倒して実施する。 また、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告済み。</p> | GⅢ | 5月24日 |